

## Q1

ローカルベンチ  
マークって何？  
どんな  
構成なの？

**A** ローカルベンチマークは、企業の経営状態を把握するツール（道具）の1つです。

企業の経営者や金融機関・支援機関等が、企業の状態を把握し、双方が同じ目線で対話を行うための基本的な枠組みといえます。

事業性評価の「入口」として活用されることが期待され、平成28年に経済産業省が公開しました。

具体的には、ローカルベンチマークツール（以下、ロカベンツール）として、財務情報・非財務情報を記入するエクセルのシートが用意されており、これを活用する

ことができます。

事業性評価のツールとしては、様々な形式が存在しています。主に、公益財団法人ひょうご産業活性化センターのような公的機関が第三者の立場で事業性評価するために作成した形式や、金融機関が独自に作成している形式があります。

これらに対し、ロカベンツールは、経済産業省がホームページ上で公開している形式であるため、企業・金融機関・支援機関等が共通して活用できる標準的な形式といえます。

## 3つのシートを記入

ロカベンツールの構成は、「財務分析シート」「財務分析」「商流・業務フロー」「4つの視点」の各シートと、参照している統計データのシートからなっています。記入するのは「財務分析」「商流・業務フロー」「4つの視点」という3つのシートのみです。

財務情報は、「財務分析」の各

項目に3年分の数値などを記入します。すると、「財務分析シート」に、

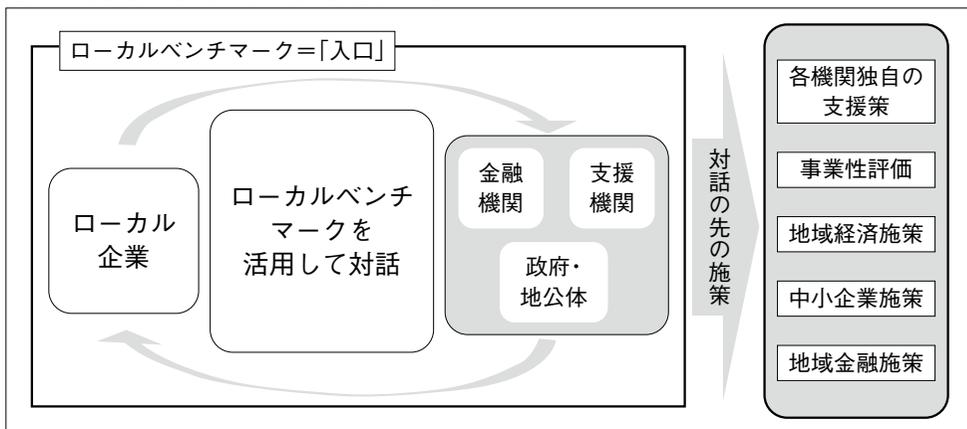
各指標の業種平均との比較評価および総合評価や、6つの指標についての3期分のリーダーチャートが自動的に示されます。比較対象は帝国データバンクが保有する業種別の平均値で、各指標は0～5の点数、総合評価はA～Dで示されています。

一方の非財務情報は、「商流・業務フロー」に社内の業務の流れや、取引先との関係を図に当てはめて記入し、「4つの視点」には「経営者」「事業」などの項目に従って文章で記入します。さらに、それらから導かれる現状認識の総括や課題、対策を挙げていきます。

財務情報は、決算書の数値を記入シートの注意事項に従って記入

していきます。非財務情報は文章や箇条書きで記載していきますので意外に手間がかかります。

## ●ローカルベンチマークのイメージ



(経済産業省 ローカルベンチマーク「中間とりまとめ概要解説資料」をもとに作成)